

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年12月14日(2017.12.14)

【公表番号】特表2016-537091(P2016-537091A)

【公表日】平成28年12月1日(2016.12.1)

【年通号数】公開・登録公報2016-066

【出願番号】特願2016-530865(P2016-530865)

【国際特許分類】

A 6 1 H 31/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 H 31/00

【手続補正書】

【提出日】平成29年11月1日(2017.11.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

心肺圧迫装置において、

回転部を持つモータと、

前記回転部に取り付けられ、前記回転部とともに回転するボルナットと、

ボルねじであって、前記ボルナットにおける回転が前記モータの方向にしたがって前記ボルねじを進める及び/又は引っ込めるように前記ボルナットにおいて受けられる前記ボルねじと、

前記ボルねじの長手方向の動きが患者に圧迫サイクルを与えるように前記ボルねじの末端部に結合されたパッドアセンブリと、

を有する、装置。

【請求項2】

前記ボルナットが、前記パッドアセンブリに対して前記モータの同じ側にある、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

前記ボルナットが、前記パッドアセンブリに対して前記モータの反対側にある、請求項1に記載の装置。

【請求項4】

前記ボルねじが、伸縮ボルねじを含む、請求項1に記載の装置。

【請求項5】

前記モータの回転に抵抗するように前記パッドアセンブリに接続された少なくとも1つの線形ガイドを有する、請求項1に記載の装置。

【請求項6】

前記モータが、直流又は交流モータを含む、請求項1に記載の装置。

【請求項7】

前記圧迫装置の動作を制御し、患者の胸部の上以外に配置されるコントローラを有する、請求項1に記載の装置。

【請求項8】

心肺圧迫装置において、

回転部を持つモータと、

前記モータに取り付けられ、中を通る少なくとも1つの線形ガイドホールを形成するガイド固定具と、

前記回転部に取り付けられ、前記回転部とともに回転するボールナットと、

ボールねじであって、前記ボールナットの回転が前記モータの方向にしたがって前記ボールねじを進める及び／又は引っ込めるように前記ボールナットにおいて受けられる前記ボールねじと、

前記ボールねじの長手方向の動きが患者に圧迫サイクルを与えるように前記ボールねじの末端部に結合されたパッドアセンブリと、

前記モータの回転に抵抗するように前記パッドアセンブリに接続され、前記ガイド固定具を通る少なくとも1つの線形ガイドと、

を有する、装置。

【請求項9】

前記ボールナットが、前記パッドアセンブリに対して前記モータの同じ側にある、請求項8に記載の装置。

【請求項10】

前記ボールナットが、前記パッドアセンブリに対して前記モータの反対側にある、請求項8に記載の装置。

【請求項11】

前記ボールねじが、伸縮ボールねじを含む、請求項8に記載の装置。

【請求項12】

前記モータが、直流又は交流モータを含む、請求項8に記載の装置。

【請求項13】

前記圧迫装置の動作を制御し、患者の胸部の上以外に配置されるコントローラを有する、請求項8に記載の装置。

【請求項14】

圧迫装置のパッドアセンブリを作動する方法において、

回転部を持つモータ、前記回転部に取り付けられ、前記回転部とともに回転するボールナット、ボールねじであって、前記ボールナットの回転が前記モータの方向にしたがって前記ボールねじを進める及び／又は引っ込めるように前記ボールナットにおいて受けられる前記ボールねじ、及び前記ボールねじの末端部に結合されたパッドアセンブリを持つ圧迫ユニットを提供するステップと、

前記ボールねじを進める長手方向の動きを提供するように前記モータを作動するステップと、

前記ボールねじを引っ込める長手方向の動きを提供するように前記モータを逆回転するステップと、

を有する方法。

【請求項15】

前記ボールナットが、前記パッドアセンブリに対して前記モータの同じ側にある、請求項14に記載の方法。